

囲いやま森の会 活動記録

2007.10.10 野口 功

日 時: 2007.10.6 (土) 10~15時 天気: 晴

記録・写真: 山田幸子

観察記録

暑かった夏が夢のように思える気持ちの良い秋の1日でした。囲い山でも少しづつ秋を感じるようになり、クリの実・アケビの実・ヤマノイモのムカゴ...秋の味覚が楽しめる季節に変わってきています。

- 1) ヒガンバナは、昔中国から持ち運ばれた植物の様です。球根で広まったと考えられています。田んぼの畦に多いのは根が土を固めるため畦の崩れを少なくする、ヒガンバナに雑草の生育を少なくする作用があることなどが理由になっているようです。球根には毒があります。
- 2) ホソヒラタアブは空中にとまっているように見える飛び方をします。今日はツユクサの蜜を吸っていました。アブはハチに似ていますが、眼が大きいので区別できます。
- 3) アオマツムシは中国原産です。木の上から絶え間なく「リーリーリー」と大きな鳴き声が聞こえます。情緒がないとの声もありますがいかがでしょうか? 体をルーペで見るととてもきれいで、自然の偉大さを感じます。
- 4) ジョロウグモは夏から秋に観られる派手な色をしたクモです。秋になると目立ちます。日があたると網が金色に輝いて見えます。横から見ると3層くらいに分かれた網を張ります。メスに比べてオスはとても小さい体をしています。オスはメスの網に居候しています。
- 5) ヤブガラシの葉に水滴が見えます。葉さきに光る水玉は、朝露ではありません。葉の縁にある水孔から排出された水だそうです。宝石の輝きにも負けないくらい美しいものです。欲しくて触れると落ちてしまいます。触れないでください。

開花植物(草本) ツユクサ・ノゲシ・ハキダメギク・ウシハコベ・イヌタデ・オオバコ・カナムグラ・ヤブガラシ・チヂミザサ・ノボロギク・カゼクサ・エノコログサ・キクイモ・ミズヒキ・ヒガンバナ・セイタカアワダチソウ・イノコズチ・カントウヨメナ・ヨモギ

鳥 コジュケイ・シジュウカラ・コゲラ・ヒヨドリ・メジロ・ハシブトガラス

昆虫 マメコガネ・クロウリハムシ・ヤマトシリアゲ・ヤマトクサカゲロウ・エンマコオロギ・オンブバッタ・アオマツムシ・ホソヒラタアブ・ミツバチ・ガガンボの仲間・モンシロチョウ・ナミアゲハ・ヒメアカタテハ・ジャコウアゲハ・ジャノメチョウ・シジミチョウの仲間

クモ ジョロウグモ・オオシロカネグモ・ハシリグモの仲間・ハエトリグモの仲間

キノコ オキナクサハツ・ツエタケ・ツヤウチワタケ・ノウタケ・キツネノチャブクロ他4~5種

その他の生き物 カナヘビ・ミスジマイマイ・クチベ



アオマツムシ



オンブバッタ



クチベニマイマイ



クロウリハムシ



ジョロウグモ



ヤマトシリアゲ



オキナクサハツ



カワラタケ



キツネノチャブクロ



ノウタケ



ヒガンバナ



ウシハコベ



ヤブガラシ



ヨモギ



カラスウリのタネ



カラスウリの実